大仙市立西仙北中学校　学校通信　令和元年度　No.21（R2. 2. 6）

心 寄せ合おう 立志の丘で 8th

Nishisenboku junior high school

～校　訓～　「立志　善心　叡智」

～学校教育目標～
「学び合い 支え合い 高め合い」

ホームページ・ブログもご覧ください（随時更新）
http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~ns-nishisenbokutyu1/

シェイクアウト訓練＋停電想定避難訓練

いざというときのために、みんなが真剣に取り組めました！

1月23日(木)に大仙市一斉のシェイクアウト訓練がありました。これは、地震が発生したときに身を守るための訓練で、「ドロップ(低くなる)」「カバー(頭を守る)」「ホールドオン(動かない)」が基本となっています。

午前11時に「大仙市防災ラジオ」での緊急放送を合図に訓練が始まりました。訓練では皆さん真剣に放送の指示どおりの動きで身を守ることができました。今回は、これにプラスして、停電を想定した避難訓練も行いました。避難した体育館には、発電機を使って動かしたストーブ3台と照明3機が準備され、雰囲気を高めました。

災害は突然やってきますし、訓練では予測できないような事態が発生すると思います。そんなときに大切なことは「臨機応変な対応力」だと思います。普段の生活から、「自分で考え、自分で行動する」ことを心がけてほしいと思います。その積み重ねが、臨機応変な対応力を身につけることになると思います。

『大綱講演会』

1年生が、地域の伝統行事「刈和野大綱引き」について学ぶことができました

「刈和野の大綱引き」が来週に迫りました。これを前に、1月24日(金)、1年生を対象に毎年恒例の「大綱講演会」が行われました。

この日は、保存会会長の今野さん、二日町建元の戸島さん、五日町建元の高橋さん、中央公民館の森さんにお越しいただき、長年受け継がれてきたこの伝統行事の歴史や地域の文化について、とても興味深いお話を聞かせていただきました。

講演会では、実際にわらを編んで綱にしたり、綱と綱を合わせたりする作業もミニチュアで披露してくださり、これまで分からなかったこともたくさん知ることができました。

実際の綱は、直径80cm、長さ200m、重さ20ｔの国内最大級の大綱になるそうです。このような全国的にも珍しい地域の行事に、皆さんも地域の一員としてできるだけ参加してほしいと思います。

給食記念日（給食週間）

いつも美味しく栄養があり安全な給食に感謝して！

1月24日(金)は「給食記念日」でした。1950年(昭和25年)、当時の文部省が、戦後、学校給食が再開されたことを記念して制定したとのことです。また、この日から1週間は「給食週間」ということで、いつも以上にいろいろと工夫した献立で、美味しく給食をいただくことができました。

この1週間は、大仙市の郷土料理と言われる「大曲納豆汁」「大曲カレーうーめん」や、青森県(八戸いかゲソメンチ)、山形県(いも煮)、岩手県(南部チキンカツ)など、東北の郷土料理もメニューに入って、本当に給食の時間がいつも以上に盛り上がっていました。

「食」は、伸び盛りの中学生にとって、一番大切な要素だと考えます。普段から美味しく栄養があり安全な給食を提供してくださっている給食センターの皆さんに感謝いたします。これからもよろしくお願いします。

大学の先生や県外の先生が西仙北中を視察されました

西仙北中の校舎や生徒の素晴らしさに感動されていました！

1月28日(火)、本校の美術教育視察のため、北翔大学(北海道)の山崎先生、長野県駒ヶ根東中学校の小山先生など、3名の方が西仙北中を訪問してくれました。

まず最初に、本校の敷地の広さ、そして校舎に入ってからの生徒の元気なあいさつに大変驚かれていました。また、校内を見学して、至る所に生徒の生き生きとした表情が見える画像やメッセージなどが掲示されていることにも感動されていました。

今日参観されたのは3年生美術の授業でしたが、3名の方々は参観中も生徒にどんどん話しかけられ、その返答の素晴らしさに「西仙北中の生徒さんは、気さくでたくさん話をしてくれる。とてもめんこい！」との感想をいただきました。また一つ、西仙北中生の良さを全国に発信できたと感じる一日でした。

綱よい・綱のばし作業体験活動

地域の伝統行事のために、1･2年生が一生懸命がんばりました!

「刈和野の大綱引き」を前に、1月31日(金)、「綱よい」「綱のばし」作業のお手伝いを1･2年生が行いました。

この日はあいにくの雨模様でしたが、地域の伝統行事のために、地域の一員として一生懸命作業をする西仙北中生の姿が光っていました。この作業は上町(二日町)と下町(五日町)に分かれて行われるのですが、西仙北小の5･6年生も参加して、約1時間ほどで作業を終えることができました。

太く長い綱を結うのは大変な作業ですが、小中学生といえども無くてはならない貴重な人材なのだということを改めて感じることができました。「地域と共に」の合い言葉を実践できた充実感一杯のひとときでした。

アンサンブルコンサート

大曲仙北の吹奏楽部員の演奏が披露されました!

2月1日(土)、協和の和ピアを会場に大曲仙北地区のアンサンブルコンサートが行われ、本校吹奏楽部から「木管五重奏」「打楽器三重奏」「金管八重奏」が出演し、素晴らしい演奏を披露してくれました。

この日は高校生の出演もあり、その見事なテクニックと表現の素晴らしさを勉強する機会にもなったと思います。各行事やボランティア活動で大活躍の吹奏楽部ですが、今後も「心寄せ合って」のハーモニーに期待が高まります。吹奏楽部の皆さん、お疲れ様でした。

公立高校前期選抜

2023年度入試から、秋田県の入試制度が変わる報道がありました!

以前お知らせしましたとおり、3年生では、私立高校や高等専門学校の推薦等の受験が終了し、すでに8名の卒業後の進路が決まっていますが、1月30日(木)には、いよいよ公立高校の前期選抜が行われ、本校から13名の皆さんが試練に臨みました。

前期選抜については、今年度から「学力検査(国･数･英)」「面接」「調査書等」において各高校での点数配分がオープンとなり、すべての項目について点数開示が行われる方式に変わりました。各校の出願条件についても、以前より明確化されてきたと感じます。(各高校の出願条件については、県教育委員会や各高校のホームページで確認できます。)

新聞等では、現在の小学校6年生から秋田県の高校入試制度が大きく変わることが報道されていました。(下の図を参照：1月17日の「さきがけ新聞」より)

いずれにせよ、入試制度が変わっても、学習の大切さに変わりはありません。日頃の地道な学習を大切に、しっかりとした基礎力を身につけてほしいと思います。

県内公立高校入試

前期と一般 日程統一

県教育庁方針 23年度から新制度

現行日程と変更後日程のイメージ

	現行制度	新制度
1月下旬	前期選抜（3教科または口頭試問）	同じ日に同じ5教科の試験を実施
3月上旬	一般選抜（5教科）	・一般選抜 ・自己推薦型の選抜
3月下旬	2次募集	2次募集

生徒総会

今年度の反省と来年度に向けた具体的な提案がされました

2月5日(水)、今年度2回目の生徒総会が行われました。今回の総会は、今年度の反省などについて、全校生徒で意見交換をする貴重な機会です。

はじめに生徒会長の佐々木さんから「これからも地域の活性化につながる生徒会活動を行っていきたい！」という力強い言葉がありました。その後、各専門委員長からの説明があり、全校生徒からの質疑応答になりました。春の総会のときよりもたくさんの意見や質問、要望等が出され、改めて「西仙北中学校をもっともっと良くしていきたい！」という強い思いをもっている人がたくさんいることを感じました。

3年生の皆さんも、1･2年生のしっかりとした前向きな姿勢に安心したことと思います。西仙北中学校生徒会の伝統はしっかりと受け継がれていくと確信しました。

栄光の紹介 おめでとう!

○令和元年度秋田県サッカー協会表彰
　3種　優秀選手　大友

○第60回秋田県児童生徒美術展
　入選　佐々木　、菅原　、田口
　　鈴木
　佳作　三浦　、阿部　、田村
　　伊藤　、佐々木　、田口
　　佐々木　、加藤

○第56回大曲仙北児童生徒書初め展
　自由課題2年　銅賞　嵯峨